

## 2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	シーリング材性能設計研究小委員会		主 査 名：山田 人司 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (防水工事運営委員会)		委員長名：本橋 健司 主 査 名：堀 長生
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>シーリング材及びガスケットを使用した接合部の性能設計に必要な定量的な耐久性評価方法を提案し、評価方法の整備と評価結果の性能設計への適用方法を検討する。</p> <p>初年度 ・ 評価試験方法の試行とその結果の精査 ・ 耐久性評価試験の検討 2 年度 ・ 評価試験方法の基準化作業 ・ 性能設計への適用方法の検討</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査:山田人司 (ハザマ)、幹事:添田智美 (フジタ)、委員:岩田克博、伊藤彰彦、杉山茂樹、榎本教良 (日本シーリング材工業会)、小野正 (清水建設)、久住明 (カネカ)、佐々木哲也 (プレコンシステム協会)、川端芳英 (建築ガスケット工業会)、樋口豊 (カーテンウォール・防火開口協会)、(日本シーリング材工業会)、久世吉久、野澤廣義 (全国建築石材工業会)、本郷雅也 (東日本シーリング工事業協同組合)、宮内博之 (忠南大学校)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	1) 接着耐久性 WG (接着性評価方法の基準化)、2) 耐疲労性 WG (耐疲労性評価方法の基準化)、3) 汚染防止性 WG (汚染防止性評価方法の基準化)、4) 耐候性 WG (耐候性評価方法の基準化)、5) ガスケット WG (ガスケット耐久性評価方法の基準化) WG、6) 設計 WG (性能設計法の適用検討)		
2011 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 評価試験方法の試行とその結果の精査し、評価方法案を作成 2. 耐久性評価試験を検討し、基準化のための課題を抽出 以上、当初目標を達成
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. シーリ材の性能設計を普及・周知するための活動が必要